

乳兒院

ほたか



社会福祉法人中央有鄰学院

乳児院とは…

乳児院は、保育所と違い、365日・24時間体制で子ども達を「育てていく」**子どものおうち**です。親や家庭の代わりとなり、子どもが安心して生活できる家庭としての機能・役割を持っています。また、家庭に帰るためのお手伝いもさせていただいています。

その他に、親の病気や入院などで一時的にお預かりする「ショートステイ」という機能もあります。

スタッフには、保育士・看護師・管理栄養士・心理士など、多様な職種の特任家がおり、連携して子どもたちを守っています。



法人理念 ～ 7つの方針～

私たちは、子どもへの願いを実現するため、「児童の権利に関する条約」の精神に則り、子どもの**最善の利益を優先し、基本的人権を尊重**することを大原則に、次のような基本方針で、子どもたちの育ちの支援を行います。

- ①私たちは、子どもと職員との**信頼関係の形成**を第一に考え、子どもと職員との固い絆を土台に、支援を行います。
- ②私たちは、子どもを**肯定的に理解し、長所を発見**し伸ばす支援を行います。
- ③私たちは、**子どもと同じ目線**に立ち、気持ちを理解し、**共感すること**から、支援を行います。
- ④私たちは、子どもにとって親との関係の重要性を理解し、**親子のぎずなを大切に**、支援を行います。
- ⑤私たちは、社会に開かれた施設運営を行い、関係機関・**地域との密接な連携**の下で、支援を行います。
- ⑥私たちは、子どもが**安全で安心**した生活ができるように生活環境を整備します。
- ⑦私たちは、子どもと真正面から対峙する姿勢を示し、伝えるべきことを伝えていきます。



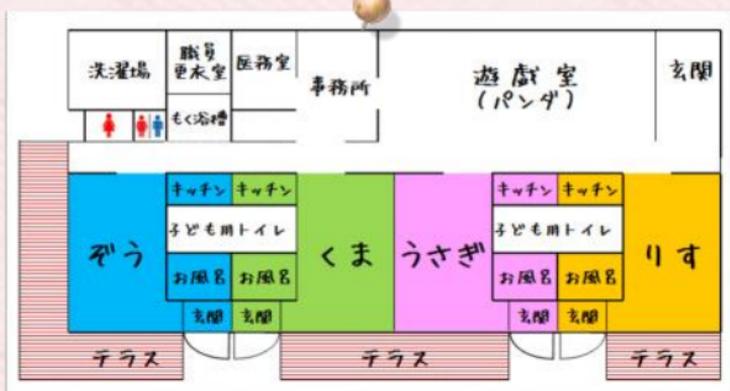
ほだかについて

定員は15名で、少人数(3~4名)の4つのユニットに分かれ、**家庭的な雰囲気**の中で、きめ細やかな子育てをしています。リス・うさぎ・くま・ぞうの

それぞれのユニットが子どもたちの「おうち」として、**安心して暮らせる生活の場**となっています。

また、併設している「ふれあいセンターおおだか」においては、**地域の方との交流**も行っております。

同じ敷地には、児童養護施設「ゆうりん」も併設し、きょうだいバラバラにならない、ゆうりんへの移行時に子どもへの負担が少ないなど、子どもと保護者の心に寄り添える環境となっています。



～子どもたちの生活(日課)～

- 6:30 **起床** 起床後は順次、着替えを行います。
- 7:30 **朝食** 朝食後に歯磨きをします。
- 9:00 **遊び** (院庭遊び 散歩 買物 室内遊びなど)
※季節や天候に合わせて活動を決めています。
- 10:00 **離乳食1回目**
- 11:30 **昼食**
S **午睡** 薄着にして、順次布団に入ります。
- 14:00 **起床 離乳食2回目**
- 14:30 **おやつ**
遊び (院庭遊び 散歩 買物 室内遊びなど)
- 17:30 **夕食 離乳食3回目** 夕食後に歯磨きをします。
入浴 職員1名に対し子ども2名までで、
S ゆったりと入浴します。
- 19:30 **就寝** 添い寝やオルゴール音を流し、安心して
入眠できるようにしています。

*乳児は月齢や様子に合わせて授乳しています。

*毎週水曜日に嘱託医の往診があります。

*昼食作り、おやつ作りにも取り組んでいます。



ほだかの行事

- 4月 お花見、イチヂク狩り
- 5月 端午の節句、遠足
- 7月 セタ、流しそうめん、夏祭り
- 8月 海水浴、花火大会
- 9月 お月見会
- 10月 ハロウィン、秋祭り
- 11月 フェスティバル
- 12月 クリスマス会、餅つき
- 1月 初詣



■ ほだかへのアクセス



社会福祉法人中央有鄰学院

〒459-8001 名古屋市緑区大高町字洞之腰20-1

乳児院 ほだか

TEL:052-693-5628 FAX: 052-622-5509

E-mail : hodaka@yuuringakuin.or.jp

<http://www.yuuringakuin.or.jp>